

具体的な取り組み

1 学校や地域における子どものスポーツ機会の充実と体力の向上

- ア 体を動かす楽しさや習慣の定着、基礎体力、特に運動調整力の向上
- イ 親子や家族が参加できるスポーツ教室やイベントの開催
- ウ 様々な競技スポーツなどに触れる機会の充実
- エ スポーツ機会の確保によるスポーツの楽しさや意義・価値を実感することができる環境の整備
- オ ICTなどの新たなデジタル技術を活用し、スポーツを楽しめる機会の提供・紹介
- カ タブレットを活用した楽しみながら自発的にスポーツに親しむ環境の整備
- キ 専門性を有するトップアスリートや地域の外部指導者の学校での活用による学校における体育の授業や運動部活動の充実
- ク 中学校運動部活動の地域移行の推進

2 市民一人ひとりのスポーツ機会の創出と健康増進

- ア スポーツ施設利用率の向上
- イ 本市の自然を活かしたウォーキングなどのイベントの開催
- ウ 「スポーツは日常生活の中で実施できる」という意識の醸成
- エ 年齢や性別、障害の有無などに関わらず、全ての人々が積極的に参加できる環境の整備
- オ デジタル技術を活用した新しいスポーツの楽しみ方の普及
- カ 日頃のスポーツ活動の成果を発表できる場の充実
- キ 障害者レクリエーション事業の継続的な実施
- ク 地区の運動会やスポーツ大会を通じた交流や親睦の向上
- ケ 新たなスポーツやパラスポーツの普及・定着

3 競技スポーツの推進・競技力の向上

- ア 全国規模のスポーツ大会出場者数の向上
- イ 自立した団体運営の促進と各競技種目への市民参加の拡大支援
- ウ 活動場所の確保などの支援や次世代アスリートの発掘・育成体制の整備
- エ 優れた指導者の育成と競技力の向上対策の充実
- オ トップアスリートとしての経験を有する指導者による次世代を担うアスリートの育成
- カ 全国や世界などで活躍する本市選手を応援し、子どもたちに夢と感動を与える
- キ 全国大会や世界大会への出場に際して、選手の努力に対する顕彰の継続

4 スポーツ環境の整備

- ア スポーツ推進委員活動の積極的な展開
- イ 指導者養成やスポーツ実施率向上のための各種研修会や講習会の開催
- ウ スポーツボランティアバンクの効果的な活用と地域との協働
- エ スポーツを通じた地域コミュニティの充実
- オ 市民スポーツ祭の実施によるスポーツ活動への参加意識の喚起
- カ 障害者や高齢者も参加できるスポーツレクリエーション大会やイベントの開催
- キ 渋川市社会体育施設整備計画に基づく施設の長寿命化
- ク 市ホームページやSNSを活用した積極的な情報発信
- ケ ユニバーサルデザイン施設のゆうあいピック記念温水プールの利用促進

5 スポーツによる交流機会の創出

- ア 大規模大会・イベントや合宿などの積極的な誘致
- イ 県内外のクラブチーム・スポーツ少年団などとの交流によるスポーツ人口の拡大
- ウ プロスポーツイベントなどの誘致によるトップレベルと接する機会の充実
- エ 観光と連携したウォーキングやトレッキングなどで本市の魅力を発信
- オ スポーツツーリズムの推進と専門的知識を有する人材の育成
- カ 令和11年の国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会による市の魅力の発信、地域の活性化

概要版

第2期渋川市 スポーツ推進計画

「一市民一スポーツ」「生活の中に運動を」



令和5年3月
渋川市

第2期渋川市スポーツ推進計画

「一市民一スポーツ」「生活の中に運動を」

1 計画策定の趣旨

本市では、スポーツを通じた市民の健康づくりを進めるため、「一市民一スポーツ」の実現を目指し、平成25年度から10年間を計画期間とする第1期渋川市スポーツ推進計画を策定し、生涯スポーツ施策を総合的に推進してきました。

共生社会実現の取組、少子高齢化の進展や新型コロナウイルス感染症の感染拡大など、第1期計画期間中に生じた社会やスポーツを取り巻く状況の変化を踏まえ、引き続き「一市民一スポーツ」の実現に取り組むため、「第2期渋川市スポーツ推進計画」を策定します。

2 スポーツの定義

本計画では、高いレベルの競技スポーツから、一人で手軽にできる散歩や軽い体操、日常生活の中での運動など、楽しみながら身体を動かすことまでを広くスポーツとして捉えます。

日常生活の中での動作や運動も意識的に行うことでスポーツになり得るものとして捉え、「一市民一スポーツ」に加え「生活の中に運動を」も合い言葉にスポーツの普及、市民の健康増進を進めます。

3 本計画で目指すSDGs

渋川市スポーツ推進計画を推進する中で、スポーツの持つ人々を集める力や人々を巻き込む力によって、SDGsのうち次の目標の達成に向け、各種施策に取り組みます。



4 スポーツ推進計画の位置づけ

渋川市総合計画を上位計画とし、総合計画に示されたスポーツに関する施策を具体的に実施する計画として、スポーツ基本法に基づく国のスポーツ基本計画及び群馬県スポーツ推進計画との整合性を図り、市の各分野別計画と連携する計画として策定します。

5 計画期間

令和5年度から令和14年度までの10年間とします。

ただし、計画期間中であっても、新たに取り組むべき事項や社会情勢の急激な変化、次期総合計画との整合性を図るなど、必要に応じて見直すこととします。

3つの基本目標

1 市民の健康づくりの推進と子どものスポーツ機会の充実



2 スポーツによる交流機会の創出



3 地域で育むスポーツ文化の構築



5つの施策

1 学校や地域における子どものスポーツ機会の充実と体力の向上

学校、渋川市スポーツ少年団、しぶかわスポーツクラブ及び地域移行する運動部活動などとの連携により、すべての子どもがスポーツを楽しむことができる環境の整備を進め、ウィズコロナ・アフターコロナ時代における運動好きな子どもの育成、体力の向上を図ります。

2 市民一人ひとりのスポーツ機会の創出と健康増進【施策の目標】

競技種目で勝利することだけでなく、「楽しさ」や「喜び」もスポーツの大切な要素であるということを広く周知します。
また、スポーツ基本法前文におけるスポーツの目標に「心身の健全な発達、健康及び体力の保持増進」などが定められていることに鑑み、スポーツを通して市民の健康増進を図るとともに、健康寿命の延伸につながるよう事業を展開します。

3 競技スポーツの推進・競技力の向上

渋川市スポーツ協会などのスポーツ団体を育成・支援するとともに、プロや実業団などのトップスポーツと地域におけるスポーツの好循環の創出を目指し、様々な主体による連携・協働を推進します。

4 スポーツ環境の整備

市民のスポーツ活動体制及びスポーツ指導體制の充実を図り、スポーツを「する」「みる」「ささえる」という様々な参加を通じて、より多くの人々がスポーツの楽しさや感動を分かち合い、互いに支え合う「スポーツ文化」の確立を進めます。
また、地域における身近なスポーツ活動の場を確保するため、スポーツ施設の長寿命化、安全性などの確保及び利便性の向上に努め、施設の充実を図ります。

5 スポーツによる交流機会の創出

地域の魅力を発信し、市内外のスポーツチームとの交流試合や大会の促進、規模の大きい大会やイベント、合宿などの誘致を推進します。
また、令和11年に群馬県で開催される国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会に向けた準備を進め、機運の醸成を図ります。